

質疑応答の状況（要旨）

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>抽出案件について</p> <p>1 小豆地域特別支援学校建築工事 ・意見なし</p> <p>2 県道円座香南線（香南工区）道路改築工事（第1工区） ・入札金額について4者中2者が同額であり1者が近い金額となっているが、これは工事の見積の積算が定型化しているためか。</p> <p>3 令和3年度通谷地区森林荒廃地緊急整備事業（機能回復） ・9者中7者が辞退しているが、応札が少なかったことに対して何か検討しているのか。もしくは工事の特性が何かあるのか。</p> <p>4 中河海維第48号 中大束川 河川海岸維持修繕工事 ・1回目の入札が無効となった理由は何か。</p> <p>5 香川県立丸亀競技場 主・補助競技場トラック等改修工事 ・入札参加資格要件の「営業所の拠点」については条件を付けていないが、当該項目は工事の発注内容によって自由に設定できるのか。 ・入札結果表に低入札価格が手書きで記載されており、落札者以外の3者の入札金額は低入札価格をぎりぎり上回る金額であるが、低入札価格を再度設定し直したということはないのか。 ・落札業者は低入札価格を下回るのを承知の上で入札してきたのか。 ・低入札価格はある程度予測ができるということか。</p> <p>6 香東川総合開発事業 柵川ダム 付替市道建設工事（橋梁上部工） ・入札参加資格の要件を満たしていると想定される業者は何者あったのか。 ・1者入札となった理由は何か。 ・今回の対象期間（8か月）における鋼構造物工事の多くが1者入札となっている。当該工種の工事で不調となっているものはあるか。また、その対策はしているのか。</p>	<p>・入札金額は各者で積算した結果であり、分かりかねる。</p> <p>・受注者に確認した結果、当現場は治山ダムまでの進入路がなく仮設道の設置撤去が容易でないことや、工事に占める仮設工事の割合が高いなど、難工事であったため、収益性が低いと判断したとのことであり、他の業者も同様に考えたと推測している。</p> <p>・指名競争入札で入札参加者が1者の場合は競争性確保の観点からその入札を原則無効としている。</p> <p>・本工事は非常に専門性の高い工事であり、全国的にも元請としての実績を有するのは10者程度となっている。その中に県内に主たる営業所を有する業者はないため、当該要件を設定していない。</p> <p>・低入札価格については、当初設定に不備があったため手書き修正となっている。低入札価格は予め公表されていないが、算出方法は公表されており、落札者以外の3者は、低入札価格調査には該当しない金額で入札してきたのではないかと考えている。</p> <p>・受注者に確認したところ、平成9年の丸亀競技場建設時に携わった経緯からぜひとも受注したいと考え、可能な限り入札価格を抑えたこと、取引会社との価格交渉やスケールメリットを活かした発注により、主たる資材であるウレタン舗装材のコストを削減できたことにより、低い入札価格となったと聞いている。</p> <p>・算出方法を公表しており、ある程度予測できるものとなっている。</p> <p>・入札参加可能業者は13者であった。</p> <p>・本工事の施工現場は非常に急峻な山岳地帯であることや、アクセス道路の幅員が狭く作業ヤードが限られることなど、厳しい施工条件となったことから応札者が少なかったと考えられる。また、収益性についても低く見積もられたのではないかと推測される。</p> <p>・鋼構造物工事は例年20件前後発注しているが、陸閘や水門が多く、今回のような橋の工事は少ない。当該工種で発注する橋の工事は非常に大きな橋が多いため、技術者が限られていることや、全国的に橋の工事</p>

7 令和3年度県営住宅植松団地U-12号棟外壁改修工事

- ・入札結果表に記載されている「不参加」とは、辞退もされなかったということか。また、不参加はよくあることか。

8 瀬戸内海国立公園男木島園地園路改修工事

- ・工事名が1回目と2回目で多少異なっているのはなぜか。

は高速道路や JR でも発注されていることから、1者入札になりやすいと推測される。対策として、事前に発注見込みを公表することや、適切な価格設定(積算)をしているところである。

- ・辞退の意思表示がなかったものであり、通常こういった事例もある。

- ・1回目が全者辞退ということで、2回目では工期及び設計内容を一部変更したため、工事名も併せて変更している。